

ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（年4回決算型）

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

愛称：金のがちょう

交付運用報告書 追加型投信／内外／資産複合 作成対象期間（2021年2月9日～2021年8月10日）

第19期（決算日：2021年5月7日）第20期（決算日：2021年8月10日）

第20期末（2021年8月10日）	
Aコース（為替ヘッジあり）	
基準価額	10,949円
純資産総額	2,675百万円
第19期～第20期 （2021年2月9日～2021年8月10日）	
騰落率	2.2%
分配金合計	120円

第20期末（2021年8月10日）	
Bコース（為替ヘッジなし）	
基準価額	12,302円
純資産総額	170百万円
第19期～第20期 （2021年2月9日～2021年8月10日）	
騰落率	4.7%
分配金合計	140円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（年4回決算型）Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）（愛称：金のがちょう）」は、2021年8月10日に第20期の決算を行いました。当ファンドは、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

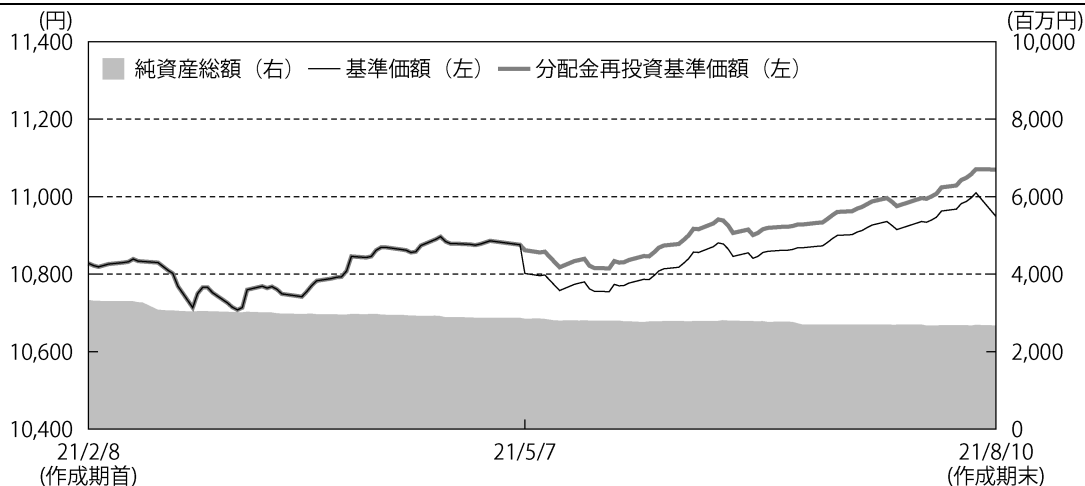
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【Aコース（為替ヘッジあり）】

■基準価額等の推移について

（2021年2月9日～2021年8月10日）



第19期首：10,828円

第20期末：10,949円（既払分配金120円）

騰落率：2.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。各国における経済活動加速やワクチン普及を背景としたリスク選好の強まりを受けて、社債市場全体が堅調に推移したことなどが基準価額にプラスに働きました。また、相対的に高い利回りへの旺盛な需要は、ハイブリッド証券市場全体の下支え要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第19期～第20期 2021年2月9日～2021年8月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	65円	0.596%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,843円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0.303)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	8	0.071	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(5)	(0.054)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	73	0.667	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

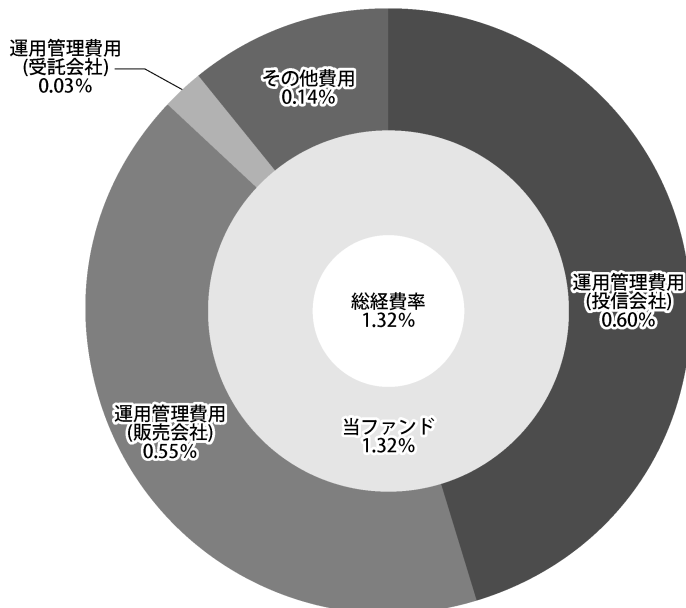
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○**総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.32%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

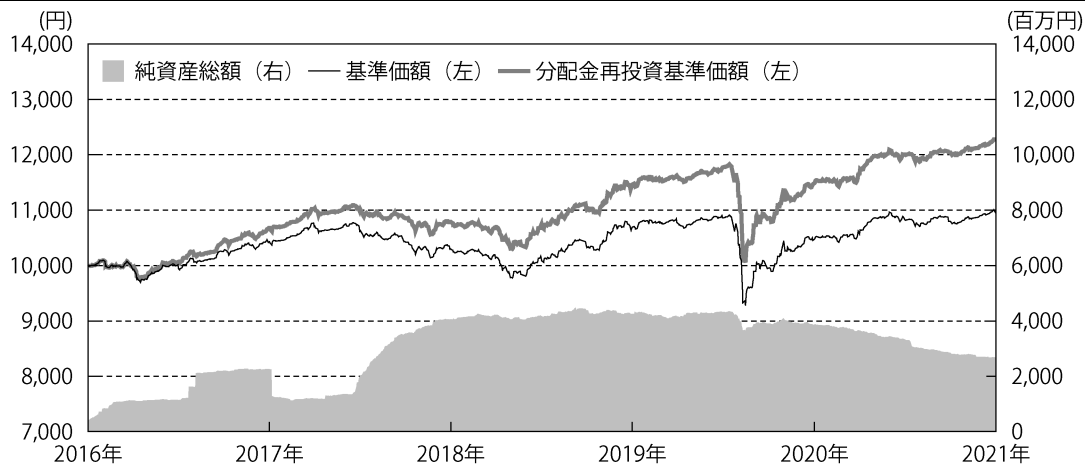
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2016年8月10日～2021年8月10日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2016年8月10日	2017年8月7日	2018年8月7日	2019年8月7日	2020年8月7日	2021年8月10日
基準価額	(円)	9,982	10,419	10,295	10,636	10,454	10,949
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	6.9	1.1	5.7	0.6	7.1
純資産総額	(百万円)	401	2,255	4,040	4,248	3,858	2,675

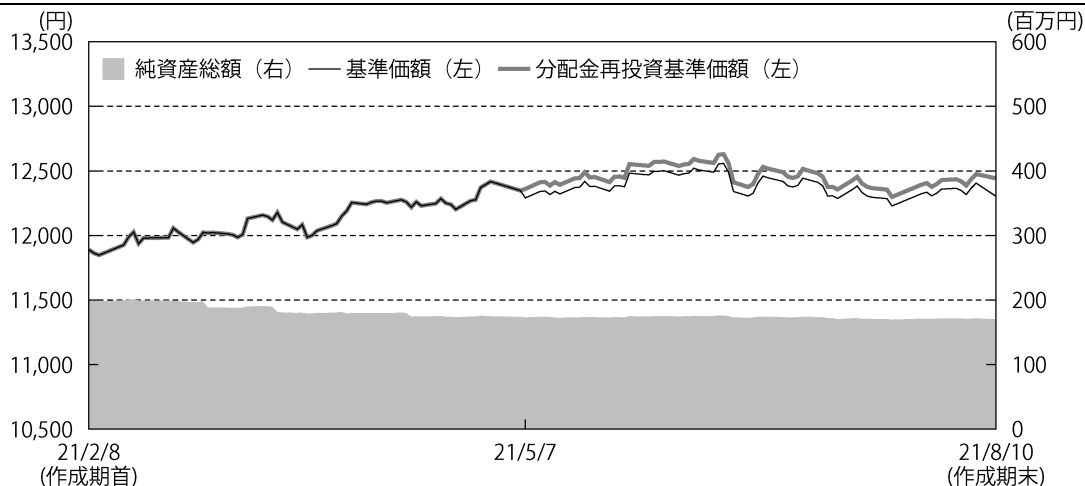
- 当ファンドは、ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含みます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【Bコース（為替ヘッジなし）】

■基準価額等の推移について

（2021年2月9日～2021年8月10日）



第19期首：11,888円

第20期末：12,302円（既払分配金140円）

騰落率：4.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。各国における経済活動加速やワクチン普及を背景としたリスク選好の強まりを受けて、社債市場全体が堅調に推移したことなどが基準価額にプラスに働きました。また、相対的に高い利回りへの旺盛な需要は、ハイブリッド証券市場全体の下支え要因となりました。ユーロが対円で上昇したことなども、基準価額の上昇要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第19期～第20期 2021年2月9日～2021年8月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	73円	0.596%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は12,299円です。
（投 信 会 社）	(37)	(0.303)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	9	0.070	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	(6)	(0.053)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	82	0.666	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

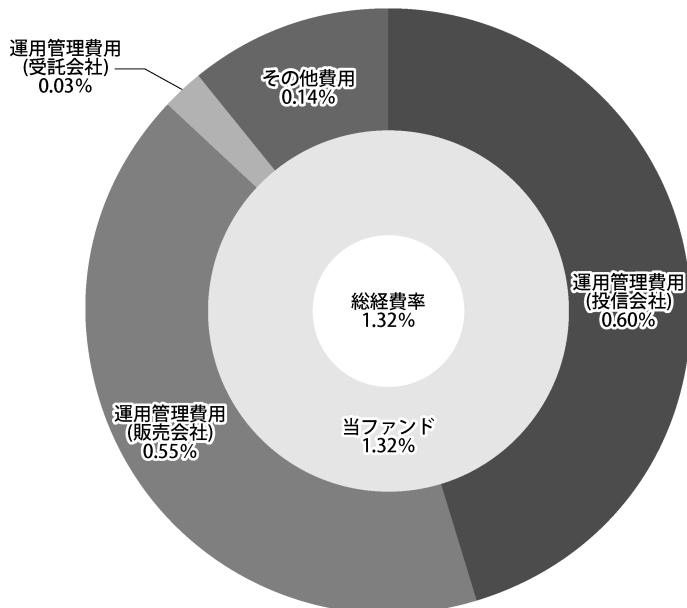
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○**総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.32%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

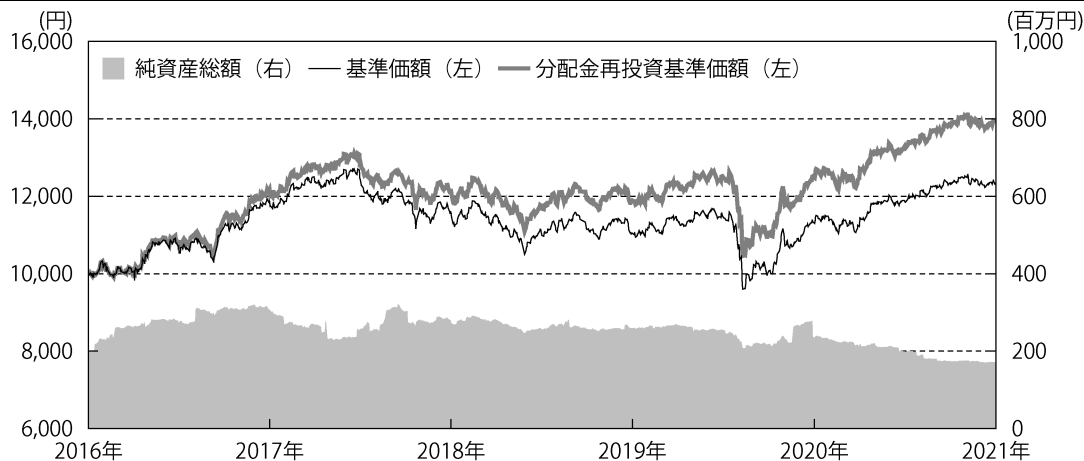
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2016年8月10日～2021年8月10日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年8月10日	2017年8月7日	2018年8月7日	2019年8月7日	2020年8月7日	2021年8月10日
基準価額 (円)	9,954	11,844	11,549	11,026	11,337	12,302
期間分配金合計（税込み） (円)	—	280	280	280	280	280
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	22.1	△0.2	△2.1	5.5	11.1
純資産総額 (百万円)	196	308	279	258	235	170

- 当ファンドは、ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含みます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2021年2月9日～2021年8月10日）

当作成期では、主要な指標となる米国の10年国債利回り（長期金利*）は上昇し（価格は下落）、ドイツの長期金利はほぼ横ばい推移となりました。各国における経済活動の加速期待の高まりや、新型コロナウイルスのワクチン普及などを受けて、市場のリスク選好が回復したことが、長期金利の上昇要因となりました。また、米国の追加財政刺激策に対する観測の強まりや、主要地域における期待インフレ率の上昇等も、欧米金利の上昇に寄与しましたが、新型コロナウイルスの変異株の世界的な感染拡大等は金利の低下要因となりました。コーポレート・ハイブリッド証券市場では、世界的に株式市場が上昇基調を示しリスク選好が回復する中、相対的に高い利回りに対する資金需要が市場の下支え要因となり、上昇しました。

為替市場では、各国のインフレ水準が上昇する中、景気回復基調の強まり等を背景に、市場のリスク選好が回復したことを受けて、主要国通貨に対しての円売りが優勢となり、ユーロは対円で上昇しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2021年2月9日～2021年8月10日）

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（ドイチェ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド）

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券を対象に投資を行いました。作成期末時点のポートフォリオについては、通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、オランダ、フランス、スウェーデン等の主要国への配分を高めとしました。

■ベンチマークとの差異について

（2021年2月9日～2021年8月10日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■分配金について

【Aコース（為替ヘッジあり）】

基準価額水準等を勘案して、第19期、第20期とも60円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	第19期	第20期
	2021年2月9日～2021年5月7日	2021年5月8日～2021年8月10日
当期分配金	60円	60円
（対基準価額比率）	0.552%	0.545%
当期の収益	54	60
当期の収益以外	5	—
翌期繰越分配対象額	1,167	1,205

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】

基準価額水準等を勘案して、第19期、第20期とも70円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	第19期	第20期
	2021年2月9日～2021年5月7日	2021年5月8日～2021年8月10日
当期分配金	70円	70円
（対基準価額比率）	0.566%	0.566%
当期の収益	70	70
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,882	2,892

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【Aコース（為替ヘッジあり）】／【Bコース（為替ヘッジなし）】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

（ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド）

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

米国では目先は新型コロナウイルスの変異株感染拡大による景気回復の鈍化懸念が長期金利の低下要因になるとみられます。一方で、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の正常化に向けて、本格的な資産購入縮小が視野に入れば、長期金利は緩やかに上昇すると予想されます。欧州では、変異株感染拡大が懸念材料となる中、主要中央銀行による大規模な金融緩和策は引き続き欧州債券市場を下支えるものと予想しています。

コーポレート・ハイブリッド証券市場については、主要国の財政・金融政策や、利回りを求める需要はプラスとなる一方、割安感が薄れていることには注意が必要です。気候変動問題に対する関心が高まる中、低炭素化対応の債券発行、エネルギー移行に向けた企業買収の可能性を見込んでいます。

運用方針としましては、引き続き、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券への投資を継続し、安定した収益の確保を目指す方針です。

お知らせ

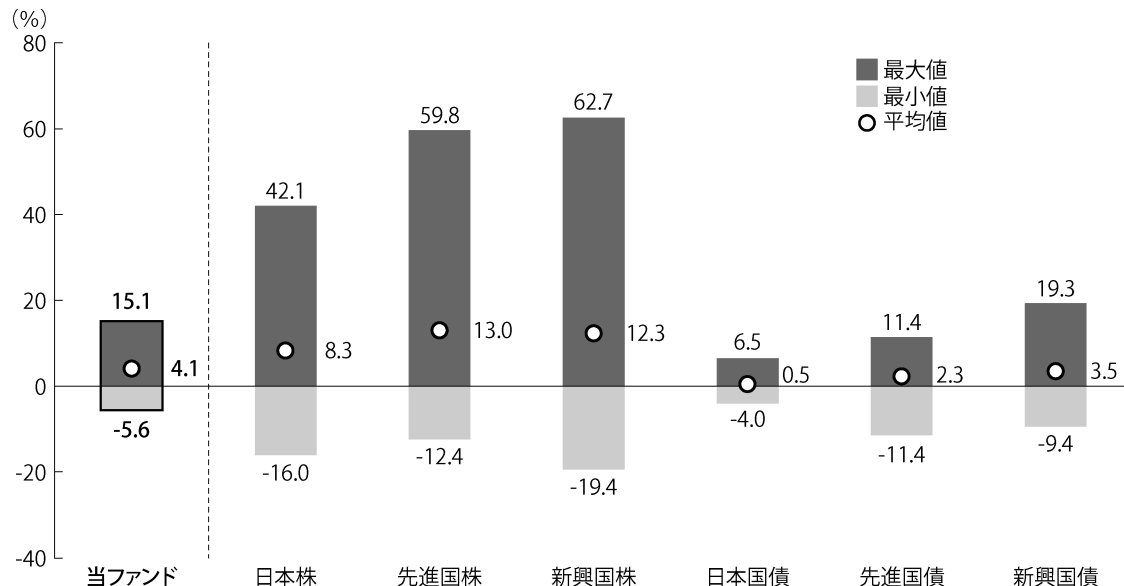
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2016年8月8日から2026年8月7日まで	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資します。
運用方法	主としてドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債及び優先証券等（偶発転換社債等も含まれます。）をいいます。）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。実質外貨建資産については、Aコース（為替ヘッジあり）については原則として対円での為替ヘッジを行います。Bコース（為替ヘッジなし）については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年2月、5月、8月、11月の各7日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2016年8月末～2021年7月末）

【Aコース（為替ヘッジあり）】



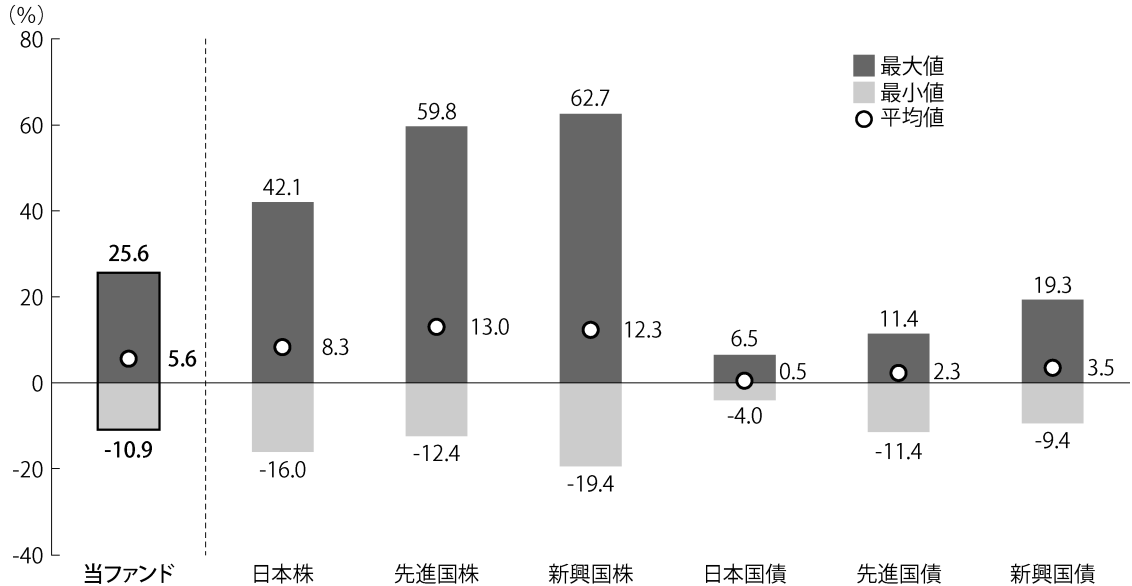
（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.1	8.3	13.0	12.3	0.5	2.3	3.5
最大値	15.1	42.1	59.8	62.7	6.5	11.4	19.3
最小値	-5.6	-16.0	-12.4	-19.4	-4.0	-11.4	-9.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【Bコース（為替ヘッジなし）】



（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.6	8.3	13.0	12.3	0.5	2.3	3.5
最大値	25.6	42.1	59.8	62.7	6.5	11.4	19.3
最小値	-10.9	-16.0	-12.4	-19.4	-4.0	-11.4	-9.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2016年8月～2021年7月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、当ファンドの設定日は2016年8月8日であるため、当ファンドの年間騰落率は2017年8月以降のものとなります。したがって、当ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P Iは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

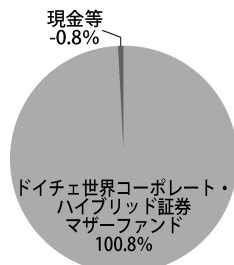
【Aコース（為替ヘッジあり）】 ■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

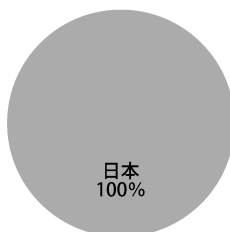
項 目	第20期末
	2021年8月10日
ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	100.8%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

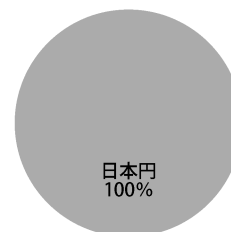
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	第19期末	第20期末
	2021年5月7日	2021年8月10日
純 資 産 総 額	2,852,282,609円	2,675,380,784円
受 益 権 総 口 数	2,640,551,732口	2,443,524,213口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	10,802円	10,949円

当作成期中における追加設定元本額は74,198,436円、同解約元本額は707,883,389円です。

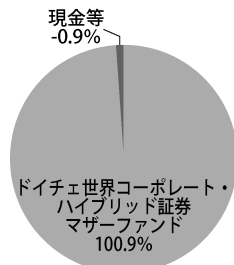
【Bコース（為替ヘッジなし）】 ■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

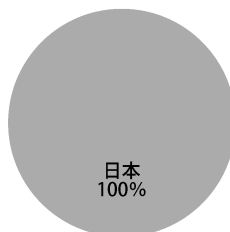
項 目	第20期末
	2021年8月10日
ドイチェ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	100.9%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

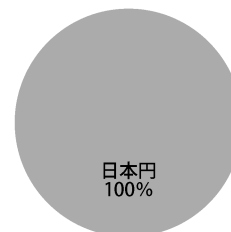
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

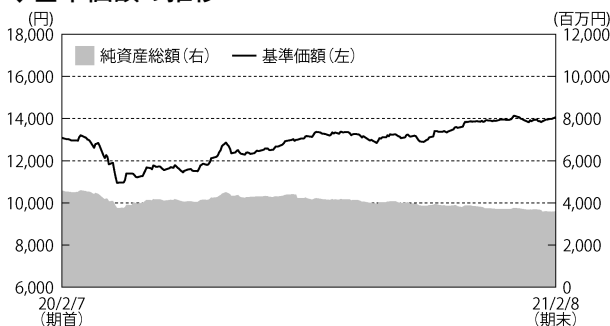
項 目	第19期末	第20期末
	2021年5月7日	2021年8月10日
純 資 産 総 額	173,051,573円	170,175,790円
受 益 権 総 口 数	140,794,289口	138,337,026口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	12,291円	12,302円

当作成期中における追加設定元本額は940,403円、同解約元本額は29,577,374円です。

■組入上位ファンドの概要

ドイツ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド（2020年2月8日～2021年2月8日）

◆基準価額の推移



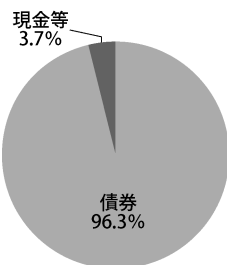
◆上位10銘柄

	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	AKFAST FRN 10/05/78	スウェーデン	ユーロ	2.6%
2	SESGFP FRN PERPETUAL	ルクセンブルグ	ユーロ	2.3%
3	ENELIM FRN 11/24/81	イタリア	ユーロ	2.3%
4	IBESM FRN PERPETUAL	オランダ	ユーロ	2.2%
5	TELEFO FRN PERPETUAL	オランダ	ユーロ	2.2%
6	HEIBOS FRN PERPETUAL	スウェーデン	ユーロ	2.1%
7	BAYNGR FRN 07/01/74	ドイツ	ユーロ	2.1%
8	SBBSS FRN PERPETUAL	スウェーデン	ユーロ	2.0%
9	SCGAU FRN 09/24/80	オーストラリア	アメリカ・ドル	1.9%
10	BALDER FRN 03/07/78	スウェーデン	ユーロ	1.8%
組入銘柄数			102銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

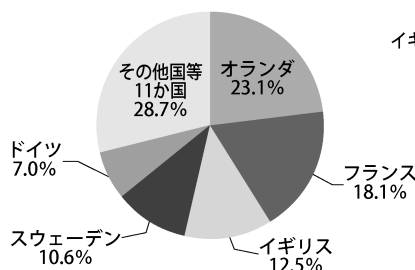
◆資産別配分



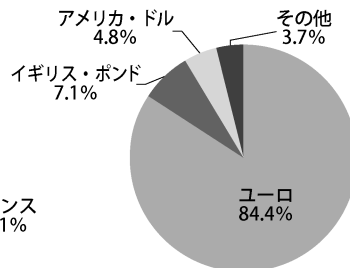
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年2月8日～2021年2月8日		
	金額	比率	
(a) その他費用 (保管費用)	4円	0.031%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 証券投資信託管理事務等に係る費用
(その他)	(3)	(0.022)	
	(1)	(0.009)	
合計	4	0.031	
期中の平均基準価額は12,851円です			

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (a) その他費用（その他）にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。